

愛知学院大学のグローバル・ポリシー

[理念]

愛知学院大学は「行学一体 報恩感謝」を建学の精神として、仏教精神に基づいた人格の形成に努め、協働の場で協調のできる社会人を育成することを教育の目的としております。人格の形成には、学習成果の実践と自己の正しい把握による多様性の受容が重要であり、国内ばかりではなく、幅広く海外に目を向けることも必要です。この理念に則り、本学は英語教育に力を入れて海外の歴史・文化・科学に学ぶ学生を育てるとともに積極的に留学生を受け入れて、大学のグローバル化に努めています。

[目標]

近年、インターネットの発達、新興国の経済的発展等により、人、物、情報の国際的移動が活発化しています。各国は相互に依存しあっており、国際社会はグローバル化が急速に進んでおります。そのため、本学は諸外国との教育交流や海外研究者のよりいっそうの受け入れを行って、グローバル世界で活躍できる人材の養成にまい進してまいります。

いっぽう、グローバル化に伴い、同一の基準が世界規模で広まると、異なる文化・習俗に基づく倫理観、価値観の間で誤解を生み出す危険性をはらんでいます。誤解を乗り越え、友好的な交流を実現するためには、異なる文化を受け入れ、尊重する姿勢が大切です。相互の違いを理解しつつ他者の尊厳を認める寛容の精神と異文化対応力を身につけることが要求されます。本学では創立以来、海外の文化を積極的に教育してまいりましたが、それをより一層進めていくことを目標とします。

また海外を知ることは、日本を再認識することにほかなりません。異なる文化、価値観に触れることにより、自国の文化を再認識する能力を身に付けた人材を育成することが必要です。本学では仏教を柱とした文化、特に禅の精神に則った教育を実施しておりますが、さらに進展させてまいります。

以上より目標は次のように要約できます。

- (1) グローバル世界で活躍できる力を育てる。
- (2) 諸外国の多様な文化を理解し、尊重する精神を涵養する。
- (3) 自国の文化、価値観を再認識する感性を身につける。